

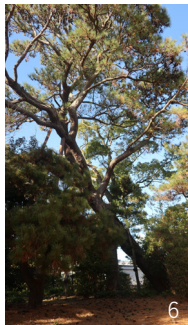
三重大学 キャンパスのカーボンニュートラル (キャンパス緑花編)

モノの豊かさから
心の豊かさへの転換

- 再生可能エネルギーの活用：創エネ
- 建物の省エネルギーの徹底：省エネ
- 森林整備・保全によるCO₂吸収：吸収

100年前から植樹

前身の三重高等農林学校時代から実施しており、三重県内では唯一とされるアメリカ東部原産のポンドサイプレスやキャンパス移転に伴って移植された樹木などもみられます。



■ キャンパス緑花

人と自然の調和・共生をめざし、地域に根差した緑あふれる環境先進大学としての**キャンパスづくりを推進**しています。



□ キャンパスの緑

ポンドサイプレス

1925 (大正14) 年に国立林業試験場 (現、森林総合研究所) から送付されてきた苗木を1936 (昭和11) 年に移植したものです。



クスノキ

このクスノキは、三重高等農林学校時代から、この場所ですと立っています。一度も移植されたことがありません。



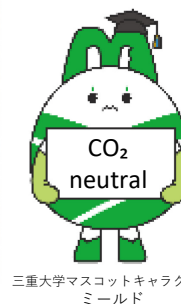
丸の内キャンパスから

1970 (昭和45) 年に教育学部が丸の内キャンパス (現在の津市役所の位置) から移転した際に樹木も移植されました。



農場から

1980 (昭和55) 年には、高野尾の農場からも移植されています。ヤマモモやナンキンハゼなども随所に移植されています。



三重大学マスコットキャラクター ミールド

[2050カーボンニュートラルに向けた取組計画](#)

国立大学法人 三重大学
地球環境センター
施設部 2024年11月



上浜キャンパス航空写真 (2024年5月4日撮影)